

実用新案公報

昭52-34194

⑫Int. Cl.² 識別記号 ⑬日本分類 庁内整理番号 ⑭公告 昭和52年(1977)8月4日
 E 04 H 3 / 04 89 (1) A 21 6434 - 22
 A 47 B 13 / 00 126 A 2 6478 - 22
 A 47 B 37 / 00 // 83 (5) C 1 6729 - 38
 A 47 G 23 / 08 129 E 0 7416 - 21
 B 65 G 17 / 48

(全3頁)

1

2

⑮旋回食事台

⑯実 願 昭48-140115
 ⑰出 願 昭48(1973)12月10日
 公 開 昭50-86031
 ⑱昭50(1975)7月22日
 ⑲考 案 者 出願人に同じ
 ⑳出 願 人 白石義明
 東大阪市長堂1の68
 ㉑代 理 人 弁理士 池田俊二郎

㉒実用新案登録請求の範囲

外周縁に所定巾の食卓5を附設した平面輪状のコンベヤ台1の上面に、一定方向に連続移行する無端コンベヤ2を設けて、所要の食品を載架旋回するようにした装置であつて、さらに無端コンベヤ2の上面には、このコンベヤに沿つて両側面開口する箱枠状の食品覆い枠24の多数個を縦列取付してなる旋回食事台。

考案の詳細な説明

この考案は、飲食営業例えばすし店に用いて好適の食事台に関するものであつて、特に台上を旋回移動する食品を、1つずつ食品覆い枠に収めて塵埃等から隔離するようにしたものである。

この考案の実施例を図面について説明すると、1はコンベヤ台であつて、アングル材等を以つて平面四角枠状あるいは円形枠等の輪状に作られ、上面には食品を一定方向に搬送する無端コンベヤ2が設置されている。このコンベヤ台1の内外周縁は壁板3, 4で被装され、外壁4の上部周縁には、さらに所定巾の食卓5がコンベヤ台1を取巻いて突設されている。なお内壁3に囲まれる適所に適宜の調理台6が突設され、またコンベヤ台1には内外壁板3, 4の一部を切抜して通り抜け用の通路7が設けられている。

コンベヤ台1上面の無端コンベヤ2は、第3, 4図に示すように半月形の平板を集列したプレー

トコンベヤであつて、多数の半月形板体8……がその下面に突設した軸9を、コンベヤ台1の内部上方に水平に張架された無端チェイン10の各チェイン単体11……を連結する枢着ピン12……の縦孔内に挿通して連節され、コンベヤ台1上に設けた側枠13に受支されて一連の同一平面に形成されている。

上記無端チェイン10は、コンベヤ台1の内部隅角部に設けた立軸14……の頂端に取付けられたスプロケットホイール15……に係合して張架されており、これらスプロケットホイール15……のうちの1つ15をコンベヤ台1内に設けた駆動機構16に接続して回動されるようになってゐる。この駆動機構16の構造としては、例えば第5図のようにモータ17の回転を変速器18を介してウォームギヤ19に伝え、これと噛み合うウォームホイール20の軸を前記立軸14とするとか、あるいは第6図のように上向きに取付けられた減速モータ(ギヤードモータ)21から伝導チェイン22を介して直接立軸14を回動するようにしてもよい。

次に、前記無端コンベヤ2を形成する半月形板体8……には、その上面にネジ孔23が各穿掘され、このネジ孔23を介して角箱状の食品覆い枠24がそれぞれ着脱自在に取りつけられている。この食品覆い枠24は、第4図に示すようにコンベヤの進行方向において両側面開口した角枠体または両側および後面を開放したコ字状体として作られ、底板25を半月形板体8の上面に重合して載置し、止ネジ26をネジ孔23に螺挿して締付固定される。この食品覆い枠24は、硬質合成樹脂等を以つて作られるが、これを特に透明材料で作ると前後方向からも収容した食品の内容を察知できる。

この考案は上記のような構造であつて、調理者はコンベヤ台1の内方に位置し、単に調理したすし等の食品をコンベヤ台1内方から無端コンベヤ2

3

4

の食品覆い枠 2 4 に一皿ずつ順次挿入載置して行けばよく、いつばう飲食者は食卓 5 を囲んで位置し、目前を通過するコンベヤ上の食品を選択して任意のものを取り出すことができるから、非常に興味深い上に人手をはぶくことができ極めて能率的であるが、この場合この考案においては特に食品がすしのような生(なま)物の点を考慮して食品は無端コンベヤ 2 上の食品覆い枠に 1 個ずつ収容するようにしたから、食品は移動の際の風圧から遮られて塵埃の附着が防止され、実質上かつ

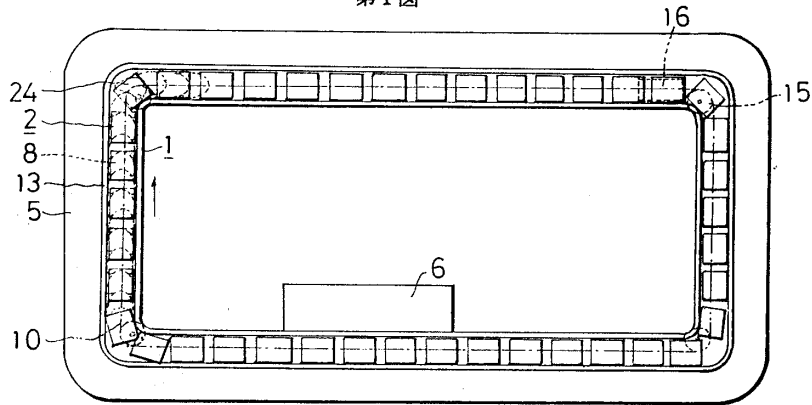
外観的にも極めて衛生的である等多くの利点がある。

図面の簡単な説明

第 1 図は平面図、第 2 図は一部縦断正面図、第 3 図は無端コンベヤの一部を示す平面図、第 4 図は同分解的に示した斜面図、第 5 図および第 6 図は各駆動機構の一例を示す斜面図である。

図中符号 1 はコンベヤ台、2 は無端コンベヤ、5 は食卓、16 は駆動機構、2 4 は食品覆い枠を示す。

第 1 図



第 2 図

